



# かえでゆうびん 7月号

6月は乳児クラスの懇談会にご参加いただきありがとうございました。再開したクラス懇談会ですが、お子様と保護者の方々の顔が見え、それぞれのご家庭での様子、子育ての悩みなどが聞け、また、意見交換もしていただくことができた有意義な時間でした。かえで保育園での「共育て」とは、『こどもまんなか』を意識しながらも「保育園」という空間の中で様々な出会いがあったり、いろんな考え方や生活の仕方を知ることで改めて「人との関わり」があってこそ人が育っていくことを体験します。保育者だから・保護者だからではなくお子様を中心に育ちあいができるようにこれからも園からも発信していきます。お子様の様子、心の揺れ動きなどで子育てに悩んだときはいつでも保育園を頼っていただけたら嬉しいです。

子ども家庭省から「初めの100か月の育ちビジョン」という子育て基本的な考え方が打ち出されました。小学1年生までのおよそ100か月は子どもの成長にとってその後の長い人生を歩む上での最も重要な時期となります。私たち保育者はお子様の成長をしっかり受け止め、子どもたちが穏やかで心地よく過ごせる環境、また様々な社会文化や自然環境に触れていくことを保障していけるよう日々学びをもって保育・教育を進めていきます。

まず保育者とのアタッチメント（愛着）により安心して過ごせるように丁寧に関わります。この愛着こそ「安心」して過ごせることにつながります。その安心があり、保護者の方々から離れても「やってみよう」と少しずつ挑戦できるのです。初めてのことも「よし！」とスイッチが入ります。

お子様の毎日は、生活がいつも大人サイドで設定されるのではなく、毎日と同じ場所・同じにおい・同じ音という安心感から自分でやってみる機会を持つことができるようになりますので園の遊びの環境はとても大切になります。それは例えば、乳児期のお子様に園庭の石や木などけがをやるから除いてしまうのではなく、自分で触って、感じてみて危ないと思う場所は慎重に歩いていきますし、お姉ちゃん・お兄ちゃんに助けてもらいながら様々なことを体験していきます。私たちはその様子を安全面で配慮しながら自分で考え行動できるよう導いていきます。

幼児時期では体験したことを毎日繰り返しやってみます。繰り返せることは子どもの遊びでは重要なことです。そして年長では自分で考え、人に共感してもらい実行するに変化していきます。

7月からの遊びは土・水・光の中で自ら繰り返して発見していき、秋につないでいきます。お子様の日々の様子をたくさん伝えながら、おうちでの様子も聞きながら心も体もしっかり成長する「夏」になりますよう保育を進めていきます。日本の文化の伝承（七夕・そうめん流し・盆踊り・すいかわり・金魚すくいなどなど・・・）も入れて楽しみます。

時間のある方はどうぞお手伝いいただきともに楽しみましょう。

## おねがい



- 子どもたちにとっては待ちに待った夏の遊びが始まり、水あそび・泥んこあそびで毎日全身でたっぷり遊びます。体調管理をして進めていきますが気を付ける事がありましたら、登園時に口頭で職員までお伝え下さい

- ロッカーの中に、シャワー用のタオルをご準備ください。体調管理・着替えの補充をよろしくお願いします。また、ルクミーのプール欄に水遊びへの参加の可否を記入してください。

- 園の前は駐停車禁止です。すぐだからと園の前に停車されている方が目立ちます。通行の妨げになるとともに園児の飛び出し等大変危険です。大きな事故になってからでは取り返しがつきません。皆が気持ちよく使えるようご協力ください。駐車場利用は短時間で譲り合って使用してください。

## おしらせ



- 7・29～甲南大学の学生が保育実習に入ります。

### 7月の予定

- \* 5日（金）七夕まつり
- \* 9日（火）検尿検査再回収日  
☆対象の方には個別にお知らせします
- \* 12日（金）誕生会
- \* 17日（水）そうめん流し
- \* 22日（月）月例健診

- \* 4・11・18・25日（木）体操
- \* 3・26日（水・金）絵画

～子育て支援イベント～

- \* 16日（火）音楽

### 8月の予定

- \* 10日（土）～17日（土） 夏季保育  
1号認定の方は夏休みがあります。
- ・職員も順番に夏休みをいただきます。職員皆でお子様の生活を見守っていきます。ご安心ください。
- ・保育希望調査票の手紙を配布しますのでご提出ください

# メッセージ

2024年7月1日  
社会福祉法人 清松学園  
幼保連携型認定こども園  
かえで保育園  
園長 引地 美津代

梅雨の蒸し暑さを感じる毎日です。園内では湿度を確認しながら、室温の調整を行い、子どもたちには汗を十分に書いてもらいながら且つ、体調管理をして気持ちよく過ごせるように気を付け、夏を楽しみたいと思います。

そんな毎日の中の一コマです。「われわれは宇宙人です」と園庭から子どもの声が聞こえてきました。私が小さい時にも遊びの中でよくこの言葉を発して楽しかったことを思い出しました。子どもにとって楽しい・面白いことばあそびは不思議と伝承されていきますね。

かえで保育園では昨年より園内研修で幼児教育を専門とされている大学教授に来ていただき学びの時間を持っています。今年のテーマは「一人ひとりの子どもの遊び理解から保育を考えるために」です。先生の講義ばかりだけではなく、子どもの遊びから考えられる経験を豊かにするための環境を見て頂いたり、子どもの「やってみよう」＝学びに向かう力を話し合ってみたりしています。普段の生活や遊びの中で考えたり、工夫したりすることでひらめくこと、やってみようと思うことで子どもの自信が生まれていきます。園庭では色水遊びをしたり、泥の感触を手や足だけではなく全身で感じたりすることで、また「やってみよう」が明日へと継続されています。7月は雨や暑い夏を楽しめる環境作りを職員だけで考えていくのではなく、子どもと話し合ったり子どもの声に大人が耳を傾けたりしながら楽しんでいきたいと思っています。 主幹保育教諭 F

梅雨に入り、雨上がりの園庭に隠れている沢山の“ときめき探し”は、子どもたちの目を輝かせていました。ふたば組の子どもたちは水たまりを見つけると、足を踏み入れて水の感触に笑みを浮かべます。

片足で地面を踏み鳴らし水が跳ねると、わくわくが止まりません。

今度は両足で飛び跳ね何度も何度も大きな水しぶきを上げていました。近くを歩いていた保育者が水しぶきに驚き「わっ！」と声を上げると、それもまた面白いようで、更に高く飛び上がります。泥で染まったズボンもTシャツも気にすることなく、たっぷり水たまりを満喫した後、「あーたのしかった」と聞こえてきそうな表情で、泥んこになった友だちと顔を見合わせていました。

夢中になりあそぶこと、体いっぱい楽しむこと、何よりも子どもの頃には大切なことだと思っています。自分自身が満足できるまでいっぱいあそび尽くすことが、粘り強く続けること、不思議をとことん試して調べる力、問題を解決していく力、大人になっても人生を手助けしてくれる大きな力に変わっていくと思います。

とことんあそび、夢中になっている子どもたちの姿を、私たち保育者もなるべく遮ることなく、まっすぐな心で見つめていきたいです。 主幹保育教諭 K



## 保護者からのエピソード



### 【先生コーナー 7月号】

コロナが収束し、大学生の娘の周りでは海外留学をする友人が増えました。いつかは自分もという思いがあるのでしょうか、英語の勉強に力を入れ始めた娘に感化され、私もアプリで英語を始めてみました。学生時代、まともに勉強をしなかった私は中学生レベルで四苦八苦しています。スマートフォンに向かって話す私の拙い英語はなかなか感知されず何度もやり直し。ようやく通じた時はよっしゃ！と一人でガッツポーズをしながら学びの真っ只中です。

今年の誕生日には家族から「生誕半世紀おめでとう！」というお祝いの言葉をもらい複雑な心境ですが、これからも新しいことへのチャレンジを恐れず、かえで保育園の子どもたちと共にたくさんの学びを得る日々を送っていきたいです。

K先生

パパが嬉しそうに持って帰ってきたケサランパサラン（らしきもの）。白粉をあげたり、動いているか確認するのが日課になりました。娘も触って「はな！」「きれー！」と観察を楽しんでいます。  
“見つけると幸運になる”という迷信を信じて家族で観察を楽しみたいと思います。（笑）

ふたば組 ゆみかさん

いぶき組になって、保育園の話をよくするようになりました。「〇〇ちゃんのお洋服可愛いのー」「〇〇君の弟いるよー」休みの日も、家で何かする時も、これ〇〇ちゃん、くんも〜と常に保育園の出来事、お友達がいるなと思います。  
これからも、たくさん目で耳で口、頭で身体を使って色々感じて育ててほしいです。

いぶき組 あやかさん

園のことをなかなか教えてくれない娘。先日も先生から、娘が「にじのむこうに」をすらすら歌っていると教えてもらいましたが、「知らない」と言い張り一切教えてくれません。いつか歌声を聞かせてくれたらいいなあ…とここまで書いたところで、横で鼻歌を歌う娘。私「それ何？」。娘「にじのむこうに、やで。知らんの？」…案外あっさり教えてくれました。

ひかり組 ちほさん

入園するまでずり這いしかできなかった娘ですが、入園から2週間ちょっとでハイハイからつかまり立ちまで一気にマスターしてきました。保育園でお友達の様子を見て学ぶのがこんなに娘の成長を促すとは、と関心と驚きでいっぱいです。  
夜寝る前に小さい声で何か喋ってるな〜と思い、耳を澄ますと同じクラスのお友達のおなまえフルネームを1人ひとり順番に言ってたようで、なんだか面白くて笑ってしまいました（笑）  
〇〇ちゃんは何〇〇ちゃん？と聞くとちゃんと名字からしっかり教えてくれます。クラスメートとして3年目を迎えるお友達の事しっかり覚えてるようです。

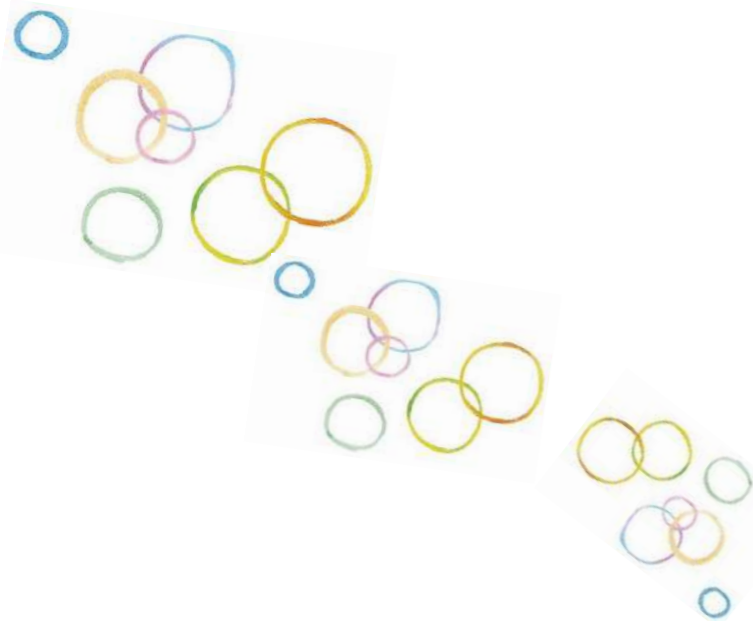
めばえ・つぼみ組 わかなさん

保育園でうたっている歌を、よくうたってくれます。アレクサに「〇〇の歌流してー」とリクエストし、家族全員に披露してくれる姿が、とても可愛らしいです。また、機嫌が良い時には登園の際に、自転車の後ろから可愛い歌声が聞こえてきます。次はどんな歌をうたってくれるのか、とても楽しみにしています。

ひかり組 あやねさん

ついにだいち組になりました。最近めばえ組に新しいお友達が出来て、一緒に遊ぶのが楽しみだそうです。  
今日は〇〇ちゃんと遊ぶの！今日は〇〇をして楽しかった！と家で嬉しそうに教えてくれます。毎日色々な事にチャレンジしており、最近連続逆上がり挑戦中だそうです！娘の成長が楽しみです！

だいち組 まりさん



# 6月の子どもたちのようす



保育者との関わりだけではなく、友だちへの関心も出てきました。友だちと目を合わせ一緒にいないいないばあをして笑いあったり、友だちに触れてみようとして手を伸ばす姿が増えました。友だちの姿が刺激となり、できることがたくさん増え、その姿に驚きの毎日です。



絵の具あそびをしました。ジップロックを使った絵の具あそびでは、絵の具がはじめての子どもも楽しむことができました。絵の具の柔らかい感触や色が広がっていく様子を保育者と一緒に楽しみました。



梅雨に入り、雨が降っている園庭を見ながら「あめだね」「かさ！かさ！」と話していた子ども達。絵の具スタンプと丸めた花紙で傘を作り、雨に見立てたズランテープに貼りました。色々な感触あそびを楽しみながら、季節を感じられるように環境づくりをしています。



今ふたば組の子どもたちは、ダンゴムシ探しがお気に入りです。クローバーの草むらを手でかき分けたり、プランターの下を覗いてみたりと、園庭の色々な場所を探し回っています。見つけると手に乗せて、「あった！あった！」と教えてくれたり、友だちとも見せ合いっこをしながら虫との触れ合いを楽しんでいます。



園庭に出ると子どもたちは生き物に興味津々で、特にダンゴムシ探しが大人気です。先日は集まりでダンゴムシの絵本を楽しみました。その絵本でダンゴムシが枯れ葉以外になにを食べるのかを知ることができました。その後、みんなで育てているダンゴムシに、ごはんのへやからもらった食材を実際にあげて様子を観察して楽しんでいます。



室内でパズル遊びを楽しむ子どもたち。はじめてパズルに挑戦した時は、なかなか思うようにできず「せんせい、やってー」と保育者を頼りながら取り組んでいました。しかし、今では真剣な表情をして一人で完成させると、にこにこしながら「みて、できたよ」と見せてくれるようになりました。





「ダンゴムシのお腹に赤ちゃんがいる」という声が聞こえ、みんなで覗いてみると小さいダンゴムシの赤ちゃんを発見しました。そんな赤ちゃんダンゴ虫を虫かごに入れて、みんなで育てています。「葉っぱどうぞ」「お腹すいているかな」と園庭に出ると虫かごのダンゴムシを気にかけています。



「さら砂をかけるんだよ」「お水はこれくらい」と泥団子を作って遊びます。午前中に完成させて「夕方固くなってるかな」とワクワクしながら午後の園庭遊びを楽しみにしています。より一層「あしたもつくる！」の意欲に繋がっていきます。



運動はっぴょうでリレーや綱引きを行ったことから、園庭でもおにごっこやゲームで競いながら遊ぶことが増えてきました。そこでクラスの集いの時間に椅子取りゲームやフルーツバスケットを取り入れてみることにしました。椅子が空いていると「ここだよ！」と友だちに教えたり、座る場所が重なった際には相談したりと、競い合いながらも応援したり、みんなで遊ぶ楽しさを味わっています。



園庭からめばえ組の子どもたちの様子を覗いたり、名前を保育者に尋ねていた子どもたち。先日、園庭でめばえ組の子どもたちと出会うと、「〇〇くん！」と名前を呼びながら、握手をしたり、泣いている子どもをみかけると、「いないいないばあ！」と何度も呼びかけていました。昨年度からお世話をすることが大好きだったひかり組。今までよくお世話をしていた子どもだけではなく、沢山の子どもたちが、自ら声を掛けるようになりました。



#### ～松秀幼稚園と交流～

松秀幼稚園との交流する機会があることを伝えると、キラキラした表情で「行きたい！」と即答の子ども達。「どんな子がいるのかな」「どんなところかな」「あと何回寝たら行くの？」とワクワクする気持ちが溢れていました。当日は広い園庭で思いっきり身体を動かして遊び、5人ずつ3クラスに分かれてそれぞれのクラスのプログラムを楽しみました。そしてお昼ご飯は自分で作ったおにぎりを持って園庭でピクニックをしました。

はじめましてのお友だちや場所にドキドキしていましたが、「また行きたい！」という思いから、次回の交流会に向けてプロジェクトが進んでいます。



#### ～田んぼづくり～

園庭の端に田んぼが出来ました。ひかり・いぶき組も一緒になって土手を作り、全身泥んこになりながら土作りをしました。土が出来たらよいよ田植えです。水を含んだ土の重さや感触を味わいながら、一束一束丁寧に思いを込めて植えました。「お米が出来たらだいぼうけんの日にみんなで食べたい！」という思いを胸に、稲の成長を子どもたちと一緒に楽しみにしています。また、稲を譲ってくださったおっこう山保育園との今後の交流にもつないでいき、たくさんの人との関わりを進めていきたいです。



## お台所から

運動発表会でだいち組の表現で踊っていた「ナイスアイデアダンス」。運動発表会後も曲を掛けていると踊り続けています。楽しそうに踊るだいち組を真剣に見ているいぶき、ひかり組の子どもたち。「次は手広げるよ」「ここはジャンプして」と振り付けを教えあう姿も見られます。今ではだいち組の楽しい気持ちが広がっています。



園庭で昼食を食べるだいち組を見て「明日園庭で食べたいな」「シート持って行こうか」と子どもたちの中で話が進み、ひかり組もおにぎりクッキングをして園庭で食べました。いつもだいち組がしていることを羨ましそうに見ていた分「外で食べるのは気持ちいいな～」と体験して感じたことを呟きながら美味しそうに食べていました。



### ～今月の食育活動～

園長先生が買ってきてくださったそら豆を目の前で焼いて食べました。そして「そらめくんのベット」を読んでいただいちさん、そらめくんを見るなり「中はどうなってるのかな?」「見てみようよ」とだいちさんとそら豆の皮をむいて匂ったり触ったりしてみました。「ふかふかだ～」「豆の匂いがする」とみんな興味津々! ゆでると少し匂いがあり苦手な子も多いそら豆ですが、焼いて皮を開いてみるとびっくり。とってもホクホクでおいしそうな匂い! 熱々の出来たてのそら豆を一人ひとつ皮をむいて食べました。



「かんてんぱぱのぶどうゼリー」をだいちさんと一緒に作りました。お昼ごはんにでてくるゼリーはぶどうゼリーが幼児さんのなかで一番人気です。「今日はぶどうゼリーを作ります」と言うみんな大喜びでした。材料を混ぜて流し込んで「ちゃんとできるかな～」「こぼれないようにね」と慎重に丁寧にみんなで楽しく作ることができました。その日のおやつはオレンジゼリーだったのでみんなと違う自分たちで作った特別なぶどうゼリーに満足気な様子でした。



7月の七夕メニューの日には「ちらし寿司」と「七夕ゼリー」を予定しています。また旬の季節の食べ物として「とうもろこし」や「ゴーヤ」、「おくら」や「すいか」なども献立に出てきます。そして幼児さんはゴーヤのわたとりなどの食育活動やみんなの前でクッキングを引き続き行っていきます。乳児クラスにもとうもろこしの皮むきなど旬の食材にふれ、匂ったりさわったり、そして食していく機会をつくっていきます。7月もおたのしみに!

栄養士 H先生 N先生

# 7月のあそびへの思い

## めばえ

6月から新しい友だちを迎え、お部屋がよりにぎやかになりました。暑さも日々増していき、本格的な夏もすぐそこまで来ているようです。季節の移り変わりを感じながら、子どもたちは元気に過ごしています。今まで砂場や芝生の上で遊んでいた子どもたちが、ハイハイで芝生を越えて築山の方へ移動したり、階段を登ったりするようになりました。足の力が強くなり、つかまり立ちが出来るようになったり、昨日より今日、今日より明日、と日々子どもたちの成長に驚かされています。これからも子どもたちの成長を保護者の方と共に一緒に喜び、感じたいと思います。あつい夏ですがしっかりと汗をかき、水分補給をしながら水あそび、身体を動かす活動をして元気な体づくりをしていきたいと思います。

## ふたば

気温が高くなり、子どもたちも待ちに待った水あそび・泥あそびが始まってきました。夏がくるのを待ちきれずに、水道から滴る水滴を集めたり、水やり用のジョウロの水を自分にかけてみたりすることも。冷たい水を感じながら遊ぶことができる日は、とても嬉しそうなお子たちです。感触あそびをする時も同様ですが、全身で水を浴びて遊ぶことが好きなこどももいれば、足からそーっと慎重に水の感覚を確かめるこどももいたり、同じ遊びでも遊び方は様々です。遊びだけでなく、生活の様々な場面でその子の“ペース”に合わせて過ごすことを大切にしながら見守っています。周りの友だちや大人の姿を見て“やってみようかな”とふと感じられるような関わりや環境作りに努めていきたいと思っています。

## つぼみ

暑さをしのぐ木陰が恋しい季節となりましたが、つぼみ組の子どもたちは毎日元気いっぱい遊んでいます。最近子どもたちは、園庭で泥遊びを楽しんでいます。じょうろで水をくみ、園庭の砂を泥に変身させます。その泥を手や足で触ったり、踏んだりすることで泥の感触や音を楽しんでいます。直接触れて楽しむだけでなく、スコップで泥をすくってバケツに入れて楽しむこどももいます。また、保育者が泥団子を作ると、その様子を見て子どもたち自身も泥団子作りに挑戦する姿も見られました。これからもこまめに水分補給をし、体調に気を付けながら、夏ならではの遊びも思いきり楽しんでいきたいです。

## いぶき

お昼ご飯前にいぶき組だけで集まる「いぶきタイム」があります。最近では、「ロンドン橋落ちた」をすることが楽しみの一つになっているようです。友だちと手を繋いで橋を作る時に、2人組になるために友だちを探し「一緒にしよう」と誘う姿や、みんなで笑いあったりする微笑ましい姿が見られました。こういった遊びの中で、「友だち」ということに楽しさを感じています。その中で自分の思いを伝えられた嬉しさを感じたり伝えられないもどかしさを感じたり様々な場面で葛藤しています。そんな子どもたちの気持ちにしっかりと寄り添い、見守ったり仲立ちしながら子どもたち同士でも成長して欲しいと考えています。

## ひかり

だんだんと暑い日が増えていき、暑い夏を感じるようになりました。先日2回目の「おにぎりクッキング」を行いました。今回は研いだお米を使って、みんなで「お・に・ぎ・り」と口ずさみながら作りました。また金時豆も収穫の時期を迎えました。さやを半分に切ると、豆が出てきたことや、緑色の豆が収穫できたことに気付きながら、食べました。湯がいて食べてみると「あまいあじがする！」と大喜び。今では昼食で金時豆が登場した際に、1番最初に食べる程お豆が大好きになりました。これからもクッキングや栽培を通じて食べること・育てることの楽しさを経験していきたいです。

## だいち

運動はっぴょう会を経て、より友だちとの絆が深まっただいち組の子ども達。他のクラス友だちが寝ている間の秘密の時間で「園外保育の計画」を子どもたちと相談しました。「お昼ご飯はどうしよう？」という話題では、自分で握りたい意見と、お家の人に作ってもらいたい意見が出ていました。やりたい気持ちだけでなく、“どうしてそう思ったのか”理由を聞くとそれぞれ思いを友だちにしっかりと伝えていました。みんなの前で自分の思いを言葉で話すことはドキドキしますが、話した事を理解したり受容してもらえる経験から自信に繋げて欲しいです。

## はまかせ

園庭の栽培物も実り始め収穫時期を迎えました。じゃがいもは手で土を掘ったり、じゃがいもの形の違いや触って質感を感じながら収穫しました。「どうして食べるのが美味しいかな」とクッキング内容を考える子、土の中にいた幼虫やダンゴムシやミミズ等の生き物に夢中になる子と様々な方向から遊びが広がっています。暑い日も続いてきました。色水あそびや泥団子作り等でも手で触れていたものから足や全身で夏を感じ始めています。

